

令和7年度 シラバス

教 科	商業	科 目	原価計算	学 年	第 2 学年	学 科 類	科 型	商業科
単位数	3 単位	教科書	原価計算（実教出版）					
副教材	反復式学習と検定原価計算問題集（実教出版）							

学習目標	1 製造業における原価計算と工業簿記に関する知識と技術を習得させ、理解を深めます。 2 製造原価の概念に対する理解を深め、原価計算から得られる情報を活用する能力と態度を育てます。
------	---

キャリア教育の視点	ビジネスの役割や経済の発展を担う企業の活動について理解を深めることで、将来、経済社会で活躍する一員として、望ましい心構えを身に付け、学校から社会への円滑な移行につなげます。
-----------	--

		学習計画及び内容		考 査
1 学 期	4月	第1編 原価計算の基礎	原価計算を学ぶにあたって必要な基礎を学習します。	中間 考 査
	5月	第2編 原価の費目別計算	原価計算の手続きのうち、第一段階の計算手続きである費目別計算について学習します。	
	6月 7月	第3編 原価の部門別計算と製品別計算	原価の部門別計算と製品別計算の仕方や記帳法を学習します。	
2 学 期	8月 9月	第4編 製品の完成・販売と決算	製品の完成と販売に関連する記帳法、工業簿記における決算、工場会計が本社会計から独立している場合の記帳法などについて学習します。	中間 考 査
	10月	第5編 標準原価計算の基礎	製造業の原価管理に役立つ資料を提供する標準原価計算について学習します。	
	11月	第6編 直接原価計算の基礎	利益計画を立てるのに必要な資料を提供する直接原価計算について学習します。	
	12月			
3 学 期	1月			
	2月			
	3月			

学習の方法	「原価計算」の授業では、赤ペンや電卓などを利用します。またノート作成方法にもそれぞれ独特の工夫を凝らすことが重要です。 単に教科書や板書をまとめるだけでなく、その背後にある複式簿記の思想を理解しましょう。まずは仕訳処理をマスターしましょう。 教科書と併用される問題集も丹念に予習・復習をしましょう。
-------	--

評価の仕方	知識・技術は、定期考査の成績と平常点で評価します。平常点は、検定の取得状況、小テスト、授業態度、課題や提出物などを総合的に評価します。 思考・判断・表現は、習得した知識や技術を既存の知識や技術と関連付けたり、他の学習や生活の場面で活用したりすることができているか評価します。 主体的に学習に取り組む態度は、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながらよりよく学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価します。
-------	--

備考	
----	--